

風話鈴香

発行所

尼崎市小中島 1・1・1 8

社会福祉法人

阪神共同福祉会 園田苑

Tel.06-6493-3731

発行責任者

理事長 中村 大蔵

私達の 目指すもの

- 一、地域に開かれた施設
- 二、入居者、家族、施設、地域のみんなで作る福祉を！
- 三、老人と共に生きがいを見い出す生活を

社会福祉法人 阪神共同福祉会 園田苑

感謝とチャレンジ。地域と共に前進を。

施設長 関口 義信

去る十月十二日、多くの皆様方のお力添えのおかげで、園田苑は、三十四回目の誕生日を迎えることができました。本当にありがとうございます。

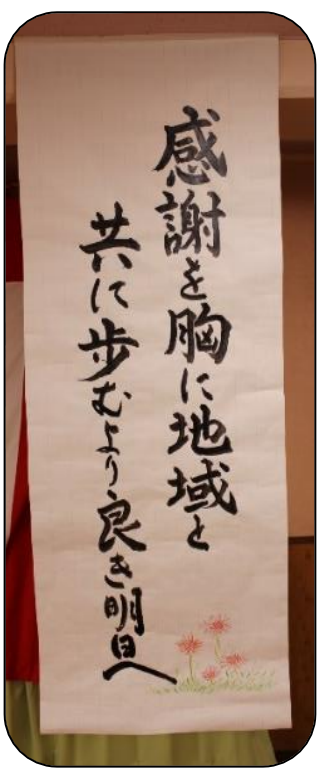


私は二十三年前に入職しましたが、園田苑の歴史でまだまだ知らないことも多く、この日を迎えるたびに、理事長や地域の方々のお話から『多くの方々の支えがあつて今日がある』ということ、強く実感し、感謝の気持ちでいっぱいになります。

施設長に就任し半年。勉強の日々が続き、助けて頂くことの多い毎日ですが、入居者、利用者、ご家族、そして、地域の皆様に安心して毎日を過ごして頂けるよう、力を尽くしてまいります。

目の前にある課題の解決だけとどまることなく、3年後、5年後を見据え、様々なことに前向きにチャレンジしていきます。

皆様の期待に応えるには、時間がかかるかもしれませんが、これまで同様、温かいご支援、ご協力をよろしくお願い致します。



共に歩むことの意義を確かめたい

理事長 中村大蔵

園田苑が開設された三十四年前は、それまでの円高不況から脱出した我が国に、アジアからの労働者が大量に流出し始めた年だった。

「金満」日本を目指した彼の国の人たちは、日本の若者が嫌がる汚い、きつい、危険の3K職場で働き、日本の産業を底辺で支えてきた。

介護の現場が今まさにそうである。園田苑も開設当初には外国人介護者はゼロであった。今はインドネシア、ベトナム、中国人が働いている。この傾向はますます進むだろう。

彼らの存在なしでは日本の介護は今や成り立たない。だが、彼の国の言葉を理解しようとする日本人職員は、どれほどいるのだろうか。かく言う私も全く心もとない。せめて日常の挨拶くらいは彼の国の言葉でしたいと思う。

日本にやって来た外国人、その多くは同じアジア人であるだけに、なおのこと強く思う。

ベトナムからやってきた男性が、帰国に当たって「親友と言える友が、日本人との間に出来なかった」と、嘆きの新聞投書をしていたことが今も重く心に残っている。

人間関係は先ず挨拶から始まる。これは万国共通であらう。国際化がますます進む我が国は、もはや多民族国家である。その中でも外国人労働者が占める割合が高いのが介護現場である。今一度、「共に歩む」ということの意義を確かめたいと思う。





コロナも少し落ち着いた。かのような十月十二日。三十四周年のお祝いの会に、「園」の会員勢ぞろいで参加させて頂きました。

顔馴染みのお客様とご一緒に「園田苑の風景」のスライドを鑑賞。見覚えのある元気な顔があり、嬉しくなりました。

ピアノの弾き語りや、子供さんを膝にちよこんと座らせての演奏もあり。肩肘張らずの演奏会を楽しませて頂きました。

例年とはグッと

「趣」を変えてのアフタヌーンティーでは、地元「エトワール」の美味しいケーキも頂きました。

ました。ゆったり、まったりとしたひと時。「これもあり！」ですね。どなたの演出でしょう。

久しぶりの苑内で、ホッとした一日。ありがとうございました。

ボチボチ、ボランティアも再開しましょう。

(ボランティアグループ 園 川崎かおり)



コロナが完全に落ち着いたわけではないので、普段のような周年行事を行うことはできませんでしたが、入居者の方々が家族と楽しそうに厨房特製の松花堂弁当を食べ、お話ししている姿を見ると、小規模のお祝いの会ではありましたが、行えて良かったと感じました。

私自身もコロナでなかなか会うことができなかったご家族やボランティアさんとお話ができ、とても嬉しかったです。

これからは、今まで中止になっていた行事を徐々に再開できそうです。入居者の方、ご家族、ボランティアさんに協力して頂きながら、全力で取り組み、全力で楽しみたいと思います。

(特養 山崎優花)



藤井由理さんによるピアノ弾き語りが周年行事に彩を添えて下さいました。愛娘さんとの共演もあり、会場は大いに盛り上がりました。



コロナの流行が始まり三年。色々な出来事があったと思いますが、ボランティアさんやご家族の変わらない温かな雰囲気につつまれたひと時でした。ゆっくりとお話する時間をとることはできませんでしたが、ご挨拶をし、共に祝いできたことは、本当によかったと思います。お年寄りも食べきれないほどの豪華なお弁当を喜んで下さり嬉しかったです。

感染予防の観点から、一人入居者、一名のご家族参加となっていました。おしゃべりをしながら一緒に食事ができることで、ご家族も安心された様子でした。

今後の周年行事も園田苑全体で、お年寄りと共に祝いができるように進めていきたいと思っています。

(特養 家門 孝光)



編集後記

爽やかな秋空が広がり、何をするにもいい季節です。

することが山積みで、慌ただしく過ぎる毎日。

ふと空を見上げると、きれいな青空に心が洗われます。

今年もあと二か月。なんとなく気ぜわしいけれど、「一歩ずつ確実に進んでいこう。」「うさぎとかめ」のかめのように...

法人理念

阪神共同福祉会は
すべての人の命を大切に
地域福祉の担い手となる

